

『もっと老上、ずっと老上～学ぶ楽しさ 人のあたたかさ 明日への希望 をみつける学校～』

2020年度 老上小学校だより No.14 (9月16日号)

老 おいかけやま通信

①おきなめあてにむかって ②いどみ つづける子 ③か ながえ 深める子 ④み とめ つなげる子 (校長 山崎 賢)

(学校だより、学年通信・ほけんだより、行事予定、下校時刻などは老上小学校HPでもご覧になれます)

(レジリエンスを育むために)

あなたには希望のにおいがする

外出自粛ムードの中で、テレビなどでも懐かしい映像が流されることも多くありました。その中で、改めて今見たり聞いたりしてみると、当時とは感じ方が違うものがたくさんあることに気づきます。特に歌や映画などは、当時は心にも留めなかったことでも、何かしらその時々的心情にぴったり合うものがあるものです。だから、自分が初めて接した当時も、自分の心にはさほど響かなかったことでも、誰かの心にはずっと残る大切な言葉や映像だったであろうことが、今になって想像できます。



今年は「レジリエンスを育む」ということをいつも念頭に置いていることもあって、どう伝えたら他の人に理解してもらえたり、子育てや教育に役立てたりできるだろうかと思うことが多くあります。そのような中で、ふと今の私の心にひっかかった歌の中に、次のような言葉がありました。

♪..あなたに会えて よかった あなたには希望の においがする

つまずいて 傷ついて 泣き叫んでも さわやかな希望の においがする ………♪

♪..あなたに会えて よかった 愛し合う心が もどってくる

やさしさや いたわりや 触れ合うことを 信じたい心が もどってくる ………♪

昭和を代表する作詞家、阿久悠さんの作品「あの鐘を鳴らすのはあなた」の一節です。この「あなた」には、どんな姿が浮かぶでしょうか。

歩き始めた頃の幼い子供の姿、懸命にスポーツに打ち込む人たち、上司への不満を言いつつも自分の仕事への熱い思いを語る人たち、はつらつとして見える新入社員、黙々と自己研鑽に励む人たち、受験を終えて入学してきた新入生、趣味や芸術に打ち込んでいる人、人生の節目を今通過している人たち……。その人にとっては、その時、その瞬間に一生懸命で、他のことを考える余裕などないのですが、それに相對している私たちに勇気や希望を与えてくれることが多くあります。そして、そんな生き方や考え方に心を動かされ、自分自身の生き方を見つめなおすことができます。

ところが、存在や振る舞い方が希望であったはずの相手に多くのことを求めすぎて、自分の生き直しを期待してしまうことがあるので、注意が必要です。例えば、子どもは希望でありその存在自体が生きがいであるにもかかわらず、いつの間にかその子自身のもつ個性や能力をじっくり自分の理想に合わせようとしてしまうことがあります。自分が果たせなかった夢を子どもに託して過剰な期待をかけることや、大人になって初めてわかった社会の厳しさを子どもには味わわせないと、自分の子ども時代のことも忘れて学習や生活習慣などを厳しく強要するなどのことは、一度や二度は経験していることでしょう。また、自分はそのように躰けられてきたからと、今の社会状況や人権の基準にも合わないような威圧的な子育てをしている自分に、ふと気づくということもあるでしょう。

それでも大人としては、だらだらとしているように映る子どもの姿に、イライラもするし、ついつい



口出しもしたくなるものです。しかし、だれもが日々の暮らしに精いっぱいなように、子どももまた様々な人間関係や思うようにいかないもどかしさや他の人と比べて感じる劣等感などで精いっぱいです。それを厳しさと恐怖で、目の前の課題だけを克服させたとしても、子どもの心には、「思い通りにならなかったら、恐怖で相手を動かせばいい」という記憶だけしか残らないものです。

また、愛情をもって子どもに接しているつもりが、共依存(※)という関係に陥っている場合があります。子どものことをすべて知っておかないと不安になったり、子どもの成長にそぐわないかわりをしたりしているような親子関係もその一つです。子どもの存在や成長が自分の生きる希望を育む力になっていたはずなのに、いつの間にか子どもの世話をすることが自分の存在意義になってしまっているのです。そしてこれは、知らず知らずに相手をコントロールし、自分の望む行動をとらせていることにつながります。反対に、依存される側もそれに気づかずに、言われるがまま、されるがままに成長していくと、大人になっても自立できなかつたり、他の人との人間関係が築きにくかつたりして苦勞することもあるので、注意が必要です。

子どもはやがて成長し、大人のもとを離れていきます。その時、自立や自律した生き方をしてほしいし、つまずいても立ち直れる人であってほしいとみんなが望んでいます。子どもを大人の思い通りにしようとするのではなく、子どもの生きる意欲や夢を、たとえそれが途中で挫折したとしても努力した過程を認め、そこから立ち直る術を一緒に考えていくというかわりをしていくことが大事なのではないでしょうか。その中で、子どもは自分のことを信じてもらっているという安心感や、自分も捨てたもんじゃないという自信を育てていけるのだと思います。そして、そこにまた私たち大人は、「希望のにおい」を感じさせてもらえるのです。

※「共依存」・・・もともとはアルコール依存症の夫とその面倒を見る妻の関係を指す言葉としてアメリカで誕生したもの。互いに依存し合い、疲れ切っても離れられず、ずるずると関係を続けてしまうような人間関係のこと。

9月～10月はじめの主な行事予定

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|-----------------------------|----------------------|-----------------------------|--|---------------------|----|
| | | | | 10/1 歯科検診(1,2年) 平和学習出前授業 (6年) | 2 | 3 |
| 4 | 5 5年1組、4組 フローティングスクール | 6 | 7 5年2組、3組 フローティングスクール | 8 | 9 歯科検診 (3,4年) | 10 |
| | 12 火曜日日課 | 13 歯科検診 (5,6年) | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 2計測 (1,4年) | 20 2計測 (2,5年) | 21 2計測 (3,6年) | 22 じんけんの日 | 23 前期あゆみ渡し | 24 |
| 25 | 26 クラブ | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

※現時点での予定です。やむを得ず中止や変更となる場合があります。ご了承ください。

※学年行事については学年だよりで詳細をお知らせします。

※10月23日の前期あゆみ渡しは、児童に持ち帰らせます。別紙の案内をご覧ください。